

# 令和5年度 西原村の学校教育

西原村教育委員会



## 1 西原村学校教育目標

新たな知をひらく学びへ

「人」社会で生き、幸福を追求する我々にとって「教育」は必要不可欠のものである。その意味において、教育の中核となる学校の位置づけは社会の中での「教育の始発駅」である。ところが今、社会は「デジタル社会」と呼ばれるほどに AI 技術やアバターが進化し、そのスピードと変革域が人々に危惧を抱かせている。また、頻発する自然災害は、その規模や頻度、場所において予測不可能な社会の不安材料になっている。さらに、大国が力で支配し、人命が消耗される事態を引き起こしている。しかし、そのような社会を創造し、構成してきたのは人である。

そんな中であって、本村では令和4年度より西原村教育の基本理念、基本骨格をそれぞれ「みんなで生きる」、「教育は人づくり、教育は社会づくり」とし、日々の教育実践に取り組んできた。

学校は社会に信用されなければその役割は果たせない。今こそ、私たちは、これまで「教育」として実践してきた様々なものを吟味しつつ、「新たな知をひらく」ことで、幸せに暮らせる村づくりに寄与する子どもたちの育成に力を注ぐべきである。

## 2 学校教育の課題

- (1) 学ぶ意欲を養い基礎学力の定着を図る。
- (2) 教育の魅力を発信し、不登校を克服する。
- (3) 個にあった学習環境を積み上げ、学力の格差を克服する。

## 3 学校教育の方向

- (1) 明確なねらいを持った授業づくりを実践する場としての学校
- (2) 学びの共同体としての学校（いじめや不登校の克服）
- (3) 誰一人取り残さないを実践する場としての学校
- (4) 社会の課題とつながり、子どもたちの可能性を開拓する学校